

\*\*\*\*\*

# 5号 北海道がんセンターたより

平成16年8月発行

\*\*\*\*\*

独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター  
〒003-0804 札幌市白石区菊水4条2丁目3-54 TEL 011-811-9111  
□ ホームページ <http://www.sap-cc.org>



編集発行人: 荻田 征美

## 北海道がんセンターの理念

私たちは、国民の健康で幸福な生活のため、最新の知識と医療技術をもとに、良質で信頼ある医療の提供に努め、特に「がん克服」に寄与することを目指します。このため、

- 常に、医療の質と技術の向上を目指します。
- 研究、教育研修を推進し、医療・医学の発展に寄与します。
- 患者さんの権利を尊重し、誠実な医療を実践します。
- 自主自律、創意工夫の精神で病院運営に当たります。



# 皮膚科紹介



皮膚科は皮膚に出現する疾患を治療する科ですが、皮膚はからだの中で一番体積が大きいといわれている臓器です。また常に外界にさらされています。そのためか、皮膚病には多数のものが知られています。それらは蕁麻疹やアトピー性皮膚炎などのアレルギー性疾患、虫刺されやかぶれなどの炎症性疾患、薬疹、膠原病、細菌・ウイルス・真菌（カビ）感染症、代謝異常症、水疱症、角化症、色素異常症、外傷、熱傷、性感染症などです。これらの一般の皮膚病のほか、皮膚の良性と悪性の腫瘍も皮膚科で治療しています。当院は北海道がんセンターですので、私達のところには、上記に述べた一般の皮膚病の患者さんに加えて、腫瘍の患者さんが色々な医療機関から紹介されて受診しています。

皮膚に出現する良性の腫瘍のほとんどのものは、小さなものであれば放置しておいて問題ありません。しかし見ただけでは良性か悪性かの区別がつかないことも多いので、両者の区別のために検査をすることもあります。良性だった場合には、手術を含めた治療によるメリットとデメリットをよく説明した上で、患者さんの希望に応じて治療を<sup>ゆうきよく</sup>しています。

皮膚に出現する悪性の腫瘍には、有棘細胞癌、基底細胞癌、乳房外パジェット病、皮膚付属器癌、メルケル細胞癌、悪性黒色腫、隆起性皮膚線維肉腫、血管肉腫、カポジ肉腫などに加えて種々の悪性リン

パ腫があります。治療方法として手術療法、化学療法、放射線療法などがあります。腫瘍の種類に応じて、また腫瘍の病期に応じて、それらの治療方法を単独に用いたり、あるいは組み合わせたりしています。このような治療の過程で、内科的な知識がかなり必要ですので、内科医師に協力してもらっています。また、癌に伴う精神的苦痛や障害、あるいは身体的疼痛に対しては、精神神経科、麻酔科などの医師に関与してもらっています。

皮膚科は最初は内科から派生した科ですが、現在では外科的処置をかなり多く施行する科となっています。当院でも生検（小さな皮膚片を採取して顕微鏡検査に提出すること）と手術を、1年間に500件以上行っています。このうち、手術室を使用する手術は1年間で250件程度です。全身麻酔下での悪性腫瘍の手術は、リンパ節部の手術を組み合わせることも多いのですが、そのような場合には形成外科をはじめとする外科系他科の医師の協力のもとに施行しています。皮膚科の医長は加藤直子です。その他に安川香菜医師、浜坂明日香医師、秦洋郎医師がおり、合計4名で働いています。外来・入院患者さんの診察にあたって、4名の医師が協力し合い教え合ってよく連携し、医療の質を向上させられるよう、努力しています。皮膚病かなあ？と思われるときは、皮膚科を受診してみてください。

## Contents もくじ \*\*\*\*\*

|                           |                 |   |
|---------------------------|-----------------|---|
| 皮膚科紹介                     | 皮膚科医長 加藤 直子     | 1 |
| 義家先生の講演会を終えて              | 呼吸器科病棟師長 佐藤扶美子  | 2 |
| 食中毒に気をつけよう                | 栄養管理室 栄養士 小木田香織 | 3 |
| 北海道がんセンターへ受診の際は紹介状をお持ち下さい | 北海道がんセンター 医療連携室 | 3 |
| セカンドオピニオン外来・平成16年8月1日開設   | 統括診療部長 内藤 春彦    | 4 |

# 義家先生の講演会を終えて

呼吸器科病棟師長 佐藤 扶美子

7月30日、7階呼吸器科病棟の患者さま学習会の一環として、北星学園余市高校の義家弘介先生をお招きして『自分らしく生きる』というテーマで講演会を行いました。各病棟の患者さま・家族・職員など、参加者は200名以上にも及びました。終了後のアンケートでは「希望を与えてくださいました」「全部のお話に感動しました」「自分の心の奥を考えさせられました」「心からのお話をありがとうございます」「希望を常に持ち続けたいと思う」「残り少ない人生を主人と仲良く生きていきたい」他多くの感想が寄せられました。1時間という短い時間ではありましたが、有意義な時間を持てたことは良かったと思います。患者さまよりいただいた講演会の感想をご紹介します。



「義家先生の講演会には3月（余市にて）と今回と2回参加する機会に恵まれました。義家先生は強靱ですね。家庭の事情から生まれる不公平感、入学してから始まったいじめられっことしての屈辱感、耐え切れずに身近の大人に助けを求めたが援助の手は伸びなかった。その苦しみを自分の力で切りひらいていったのですものね。それで自分で身につけた価値観で義務教育が終了する年限が来るまで頑張ったのですが、その間の挫折感や苦悩は、16歳の時「死にたいと思って何度も手首を切った」と語られた言葉に表れています。その時、よくそこを折り返し点として再出発できましたね。普通の人であれば、あそこからあれ程のファイトなり、エネルギーが発散できないと思います。大学の法学部卒業をめざしての必死の姿は「やがて大きく指が変形した」とっています。そして、24歳の時お父さんとした1泊2

日のルールと、共に酒を飲み交わしながらの会話の内容、オートバイの自損事故で大怪我をしている時、安達とし子先生との再会、更に去年の二世誕生にまつわるエピソードを語られた時には、私の涙腺はゆるみっぱなしでした。昨今、児童生徒にかかわる忌まわしい事件が続発しています。このままでは子供たちの未来はどうなるのでしょうか。今こそ、世の大人どもが、こぞって彼等の足元を見守って、導いてやらなければならない時だと強く感じました」

7階呼吸器科病棟ではH12年度から患者さま学習会を行っており、治療と御自身の生活に前向きに考えていけるように支援しています。病気と向き合いながらも希望を持ち、頑張ることで自分らしく生きる道<sup>たど</sup>って欲しいと思います。今後も患者さま学習会を続けていくことで、闘病意欲につなげていきたいと思っています。



# 食中毒に



# 気をつけよう



栄養管理室 小木田 香織

食中毒は一年を通して起こっていますが、特に細菌が繁殖しやすい7月から9月にかけて集中しています。食中毒発生のハイリスクグループとして抵抗力の弱い人や体調が悪い人、乳児、小児、老人があげられます。また、食品を調理する過程で手や指、調理器具などに菌が付着し、調理済み食品が汚染されて食中毒が起こる（二次汚染）ケースも増えています。

## 食中毒のおもな原因菌と特徴

近年多発しているものにサルモネラ、腸炎ビブリオ、黄色ブドウ球菌、カンピロバクター、小型球形ウイルス（SRSV）があります。

|          | 原因食品                 | その他        | 予 防 法   |
|----------|----------------------|------------|---|
| サルモネラ    | 食肉、卵およびその加工品         | 二次汚染された食品  | 食前加熱（内部まで充分加熱する）低温保存、調理器具などの二次汚染防止                |
| 腸炎ビブリオ   | 海産魚介類、調理器具などの二次汚染による |            | 食前加熱、低温保存、調理器具などの二次汚染防止、調理後短時間内に食す                |
| 黄色ブドウ球菌  | 弁当、おにぎりなどの穀物         | 加工品<br>化膿巣 | 低温保存、調理後短時間内に食す<br>毒素産生後の加熱は無効、化膿巣のある人の調理への従事は避ける |
| カンピロバクター | 肉類（特に鶏肉）、小菌量による感染可   |            | 低温保存、食前加熱、調理後短時間内に食す、二次汚染に特に注意                    |
| 小型球形ウイルス | 生かき、ホタテの刺身、          |            | 冬季の二枚貝の生食に注意<br>75℃以上に加熱して食す                      |

## 食中毒予防のポイント

予防の基本は「つけない、増やさない、殺す」です。細菌は適度な温度、水分、栄養の条件がそろえば増

殖するので、調理済み食品を長時間室温に放置せず2時間以内に食べましょう。そして、加熱する料理は充分に加熱し、二次汚染の防止を防ぐために特にまな板、ふきん、スポンジなどの調理器具の衛生面に注意をし、キッチンには清潔に保ちましょう。

## 北海道がんセンターへ受診の際は紹介状をお持ち下さい。

### 1. なぜ紹介状が必要か？

かかりつけ医がいる場合、今までの治療経過やお薬の処方内容の情報をいただくことによって、患者様の状態をより正確に把握することができます。そのことによって治療がスムーズになり、同じ検査をくり返したり、診断被曝を少なくしたりできます。

### 2. 紹介状がないとどうなるの？

北海道がんセンターに初めて受診される患者様で紹介状がないと、特定療養費として2,100円、診療費とは別にいただきます。

### 3. 特定療養費ってなに？

初診の際、紹介状なしに200床以上の病院を受診された場合に初診料とは別にいただく費用です。（特定療養費は病院ごとに金額は異なります。）

北海道がんセンター 医療連携室

# セカンドオピニオン外来 平成16年8月1日開設



統括診療部長 内藤 春彦

現在、どこかの病院にかかっている患者さまで、治療方針につき他の専門医の意見（セカンドオピニオン）を聞いてみたい方、またはそのご家族の方が対象です。

治療方針の選択に悩む方、今の医師の説明がいまひとつ理解できない方、自分で資料データを集めたい方などの要望にお応えします。

一般の外来時間とは別に30分単位の完全予約制で行います。

訴訟を目的にしている場合、診療費についての相談などは除外しています。

## A セカンドオピニオン外来の 申し込みについて

1. 医療連携室に電話で申し込んで下さい。  
(医療連携室にて該当する科の医長と面接日時を設定しお知らせします。)
2. 担当医師：該当する科の医長
3. 費用：7,350円/30分（以降30分ごとに3,150円追加）（保険診療対象外）

## C お申し込み・問い合わせ先

〒003-0804 札幌市白石区菊水4条2丁目3番54号  
独立行政法人国立病院機構  
北海道がんセンター 医療連携室  
直通電話： 011-811-9117  
直通FAX：011-811-9110

## B 当日持参していただくもの

1. かかりつけ医の紹介状
2. 検査資料（レントゲン写真・血液検査データなど）
3. 健康保険証（念のためお持ち下さい）

## D 他の医師のセカンドオピニオン を希望する方

当院で診療、治療を受けている方で、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞いてみたい方は担当医に申し出て下さい。当院は患者さまの納得いく診療を心がけており、他院の専門医のご意見も参考にし、遺漏ない治療を提供するよう努力しております。

紹介状と検査資料をお貸しします。セカンドオピニオン希望と担当医に遠慮なくお申し出下さい。

